

# 結 果 報 告

大会名	リオデジャネイロオリンピックハンドボール競技 女子アジア予選 愛知・名古屋大会			
競技日	10 月 21 日 ( 水 )	試合	第 1 試合	
種 別	女子	会 場	愛知県体育館	
Aチーム		Bチーム		
韓国		カザフスタン		
得点合計	小 計		小 計	得点合計
35	18	前半	10	24
	17	後半	14	

## 【 戦 評 】

記載者氏名

郡司 恵太

リオ予選2日目となる本日1試合目の顔合わせは、今大会初戦となる韓国と、前日黒星スタートし、なんとしても勝利をおさめたいカザフスタンの一戦。

前半立ち上がり、サイドシュートを中心に速い動きで攻める韓国に対し、カザフスタンは個々のするどい攻撃と体格を生かしたポストプレーで応戦する。前半3分、相手のミスからすばやい速攻へ持ち込んだ韓国が相手の退場をさそい、チャンスを得る。このまま流れを引き寄せたい韓国であったが、カザフスタンはあせらず得点を重ねてピンチをしのいだ。このあとお互いにミスから流れをつかめずに、カザフスタンが1回目のタイムアウトを要求した。

タイムアウト明けからはディフェンスのシステムチェンジをした韓国が流れをつかむ。カザフスタンはゴールキーパーの連続セーブでなんとか食らいついたが韓国が4連続得点でリードを広げた。カザフスタンの反撃は前半16分すぎ、危険プレーからの韓国側退場で訪れる。確率の高い連続シュートで一挙3連続得点をあげ、韓国はたまらずタイムアウトをとった。

一時3点差まで縮まった点差であったが、その後は安定した試合運びをした韓国がじりじりと得点をひろげて、8点差で前半を終えた。

後半は前半に引き続き韓国の流れ。カザフスタンはなかなか攻めきれずに、韓国はサイドシュートや速攻などで確実に得点を重ね、後半5分の時点でこの試合最大の12点差とした。

その後はカザフスタンゴールキーパー1番の連続好セーブでなんとか食らいつこうとするものの、韓国のスピードについていけずに勝負は決した。韓国の落ち着いた試合運びと、最後まであきらめず戦い抜いたカザフスタんに賞賛を送りたい。